

自然観察 NOW

NO : 43

野幌森林公園自然情報

発行：2019年11月3日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://voluran.com/>



◎エゾリス

北海道にはエゾリスが棲んでいます。野幌森林公園にも生息しているので、皆さんも何回か出会ったと思います。愛くるしい姿から一度出会うと虜になります。そんな可愛いエゾリスを今回は取り上げてみました。



<ブログより・円山原始林>

1. エゾリスはどんなリス

エゾリスは齧歯目リス科に属し、北海道の森林に棲息しています。ヨーロッパからロシア、朝鮮半島、中国北東部にかけて分布するキタリスの亜種とされています。本州・四国・九州にいるニホンリス（別名ホンドリス）とは別の種類で、それよりもやや大きく体長約25cm前後、尾の長さは約20cm、体重300~400g程です。夏と冬で毛変わりし、夏毛は茶色が多く冬毛はやや白っぽくなります。冬には耳に長い毛が伸び、角のように見えるのが特徴です。手足の指は長く、指先には長く鋭い爪があり、樹上で生活するのに適しています。

2. 北海道に棲んでいるリスの仲間

北海道にいるリスの仲間には、エゾリス、エゾシマリス、エゾモモンガの3種です。エゾリスとエゾシマリスは明るい日中に活動するのに対し、エゾモモンガは暗くなってから活動します。エゾリスとエゾモモンガは樹上で活動するが、エゾシマリスは主に地上で活動します。冬の活動を見ると、エゾリスとエゾモモンガは、活動時間が短くなるが冬眠しないで冬を越します。一方、エゾシマリスは地下に穴を掘って、そこで体温を下げて冬眠します。このように、同じリス科の3種ですが、生活の仕方に少しずつ違いが見られます。

3. 繁殖行動と子育ては

繁殖行動は、ふつうは年1~2回で、5月と7月頃に子リスが見られます。（年3回子育てをしたという記録もあります。）妊娠期間は約40日間位、出産後2ヶ月間は子育て期間なので、3ヶ月半位で子育てを終了します。3月に交尾して4月中に出産その後育児、6月半ばには子離れをします。場合によっては、その後も妊娠し出産して2回目の子育てをします。森林の食料が豊富になる春から夏にかけて出産し、子育てをしているのです。

子育ては雌だけで行います。樹洞を利用し、苔や樹木の内皮を敷き詰めて巣を作ります。巣は、距離を置いて5箇所ほど作り、子リスの成長に合わせて巣を替えます。カラスなどの天敵に巣が特定されないようにすると、巣の内部にダニや寄生虫が増えるのを防ぐためだといわれています。

4. 何を食べているのか

食べものの種類は、住んでいる森林によって違いがあります。一般的には、ハルニレやオヒョウの芽や実、ミズナラの若葉や実、イタヤカエデの芽や若葉、アキタブキの若葉、エゾエンゴサクの花、サクラ類の芽や花に実、ホオノキ・キタコブシ・サルナシ・イチイ・ヤマグワ・オニグルミ・カラマツ・ハンノキ・クリ・松類の実、イタヤカエデの樹液、アブラムシの甘露、キノコ類を食べます。妊娠した雌は、エゾハルゼミや昆虫類、ミミズ、野鳥の卵などを食べ、風化した動物の骨や歩道の縁石を舂めます。動物性たんぱく質を補給しているのです。冬は、貯蔵した木の実（ドングリやオニグルミ等）を掘り出して食べます。

5. 天敵はだれか

天敵は、キツネ、テン、トビ、フクロウ、カラス、更に野生の犬や猫とさまざまです。NHK番組「ダーウィンが来た！」では、帯広市内の中心にある緑ヶ丘公園でのエゾリス子育てと、天敵のカラスとのバトルを取り上げていました。ここではカラスとエゾリスが近接して巣を作っており、エゾリスの赤ちゃんは常にカラスに狙われています。ある時、カラスに子どもを奪われた母リスが、そのカラスの巣に行き威嚇や攻撃をしていました。カラスはタジタジでした。天敵であるカラスを威嚇する姿に感心しました。

6. 冬はどんな生活をしているのか

冬は早朝の短い時間、2～3時間程度巣から出てドングリなどを掘り出して食べ、その後は巣に帰り寝るという生活パターンを繰り返します。冬眠をしないので、凍ても吹雪いても寒い中餌探しに出かけます。夏は昼間活動します。



<野幌森林公園・唐松の実を食べる>

7. エゾリスの現状

明治時代の開拓者たちは、エゾリスのことを別名「キネズミ（木鼠）」と呼んでいました。ネズミの様に沢山いたからです。それが、昭和40～50年代の大規模な森林伐採による田畑や宅地、工場用地の造成の結果エゾリスは激減しました。しかし、近年になって、その数は徐々に回復しているとのこと。愛くるしいエゾリスが、普通に棲んでいる森林が北海道の本来の森林の姿であり、その環境を守っていききたいものです。

◎観察会案内

1月12日（日）	円山登山観察会	10:00～12:30	円山八十八カ所登山口集合・解散
2月6日（木）	冬の森の観察会	10:00～12:30	自然ふれあい交流館集合・解散
3月22日（日）	森の中で春をさがそう	10:00～12:30	自然ふれあい交流館集合・解散

<参考とした図書など>

- ・「エゾリス」・オトフケの森の物語、矢部志朗著、講談社、1994年11月発行
- ・「エゾリス日誌」、高野美代子著、北海道新聞社、1997年8月発行
- ・「エゾリスの不思議」、南尚貴著、北海道新聞社、2003年6月発行
- ・「北海道の動物記・観察記録編」、桑原康彰著、新生出版、2004年6月発行
- ・「北海道の動物たちはこうして生きている」、富士元寿彦著、北海道新聞社、2011年10月発行
- ・NHK番組ダーウィンが来た！選「北海道・リスVSカラス・樹上の攻防戦」

文責：阿部 徹